

2019年3月2日

証券コード 3918

サンキュー いっぱい！

PCIホールディングス株式会社

会社説明資料

（松山セミナー）

ご挨拶

本日はご多忙の中、当社会社説明の機会を頂戴し誠にありがとうございます。

当社グループは、IT技術をもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指し、**エンベデッド技術、通信制御技術、半導体分野での豊富な経験と高い知見**に加え、**エンドポイントセキュリティ製品「AppGuard®」の取り扱いを開始**しております。これらの取り組みにより、来るべき**IoT/IoE社会**すなわち**Connected World**を見据えた「**IoT社会の循環構造**」が当社グループ内に整いました。

その一方で、当社グループが保有していないIT技術領域も残されており、この解決に向け**特殊技術や先端技術を保有する事業会社との各種アライアンスを並行して検討・推進**しております。

当社グループは、これからも「**安心・安全・豊かな社会**」を実現すべく、「**IoT/IoE社会 = Connected World**」、「**IIOT = Industrial Internet of Things (産業分野におけるIoT)**」、「**自動走行・自動運転・Connected Car**」、「**VR/AR**」、「**AI**」等へソフトウェア技術を提供するとともに、「**M&A戦略**」により**グループの拡大**を目指してまいります。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役会長 天野 豊美



- I. P C I グループとは
- II. 展開している事業領域
- III. これまでの当社グループ
- IV. これからの当社グループ
- V. 中期ターゲットと株主還元

I. PCIグループとは？



安心・安全・豊かな社会に 貢献する会社

基本情報

商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,516万円 (2018年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	144億9,359万円 (2018年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード : 3918)	経常利益 (連結)	7億7,118万円 (2018年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,195名 (2018年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) シスウェーブ (株) シー・エル・シー (株) りーふねっと Safer Connected World (株) VSE (株)

グループ運営体制

PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます

PCIホールディングス



PCI Holdings, Inc.

<https://www.pci-h.co.jp/>

グループ経営管理

PCIソリューションズ



<https://www.pci-sol.com/>

エンベデッドソリューション

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

シスウェーブ



<https://syswave.jp/>

半導体トータル
ソリューション

シー・エル・シー



<https://www.clc.co.jp/>

ビジネスソリューション

リーふねっと



<https://leafnet.jp/index.html>

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

Safer Connected World



<https://ag.safercw.co.jp/>

IoT/IoEソリューション

VSE



<http://www.vse-japan.com/>

エンベデッドソリューション

半導体トータル
ソリューション



IR Movies

企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて
全社員の幸せを追求し、
そして**社会の発展**に貢献します。

行動方針

安定した事業成長を実現します
ユーザに適したソリューションを提供します
応援して頂ける企業を目指します
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を
目指します

（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

2019年9月期 グループMotto

IoTにより全てが繋がる社会になる中、
当社はITを通じて、
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。

具体的に何をしている会社？

事業内容は？

- ⇒ 情報サービス事業を営む会社を傘下に置く純粋持株会社
- ⇒ 主力はお客様の要求に基づく受託ソフトウェア開発事業
- ⇒ ITソリューション・サービスの提供

お客様は？

- ⇒ 主に B to B。取引先の多くは上場企業及びその関連会社
- ⇒ 上位20社における契約リピート率は100%

開発したソフトウェアはどこで使われているの？

- ⇒ 自動車、建機重機、モバイル端末、デジカメ、専用機器 等
- ⇒ 一般事業法人や金融機関の業務システム 等
- ⇒ 車載器、スマホ、太陽光

Ⅱ. 展開している事業領域

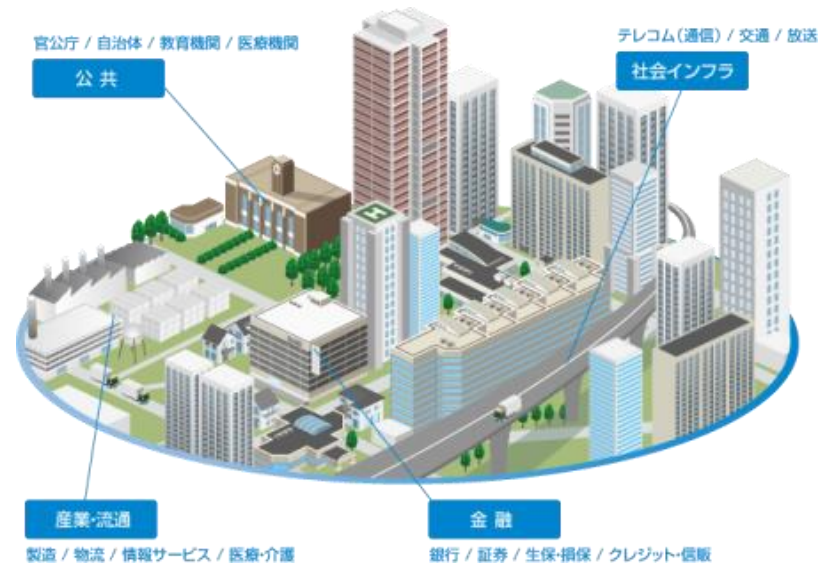


当社グループの事業領域

エンベデッドソリューション事業



ビジネスソリューション事業



IoT/IoEソリューション事業



半導体トータルソリューション事業



エンベデッドシステムとは・・・

『制御』が必要な
あらゆる製品に内蔵される
コンピュータシステム のこと



用語解説・・・エンベデッドシステムとは？

- ・エンベデッドシステム（組込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。

お客様（主に製造業者）

〇〇な機能を開発して欲しいなあ



開発事例

カーナビ



- ・ **タッチパネル**で画面を切り替える機能

自動車



- ・ アクセルを踏むと**ガソリン噴射量を制御**する機能
- ・ エンジン、エアコン等の制御機能
- ・ **センサーによる自動駐車**機能

スマートフォン タブレット



- ・ **ディスプレイ表示**の仕組み
- ・ アプリケーションの基盤
- ・ データ通信機能
- ・ 電波を切替える機能 等々

デジタルカメラ



- ・ 画面上のアイコン・ボタンメニュー等を操作する機能
- ・ シャッターを押して**フォーカスを合わせる機能**
- ・ 画像処理機能 等々

要件定義・基本設計

製品にチップセット組み込み

納品

発注

高い参入障壁

製造業者はリコールリスクを回避するため実績・信頼ある企業にのみ発注

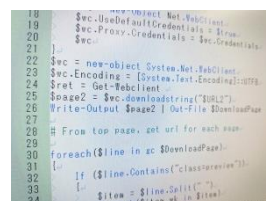


システム開発

詳細設計

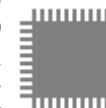
プログラミング

テスト



開発したプログラムをチップセットに格納

チップセットとは、ある機能を実現するための集積回路の組み合わせのこと。ソフトウェアの開発力でハードの複雑な機能を実現する。



多岐にわたる機能を必要とする機器のシステムは、最先端技術を駆使し、複数のハードウェア・ソフトウェアを組み合わせで開発しています。

※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。



IR Movies

Ⅲ. これまでの当社グループ

これまでは. . .

1) 確かな技術力

をベースにした

2) 堅実なビジネス基盤

を背景に成長し、

3) M & A を積極実施

少しずつ. . .

1) 組込み制御技術

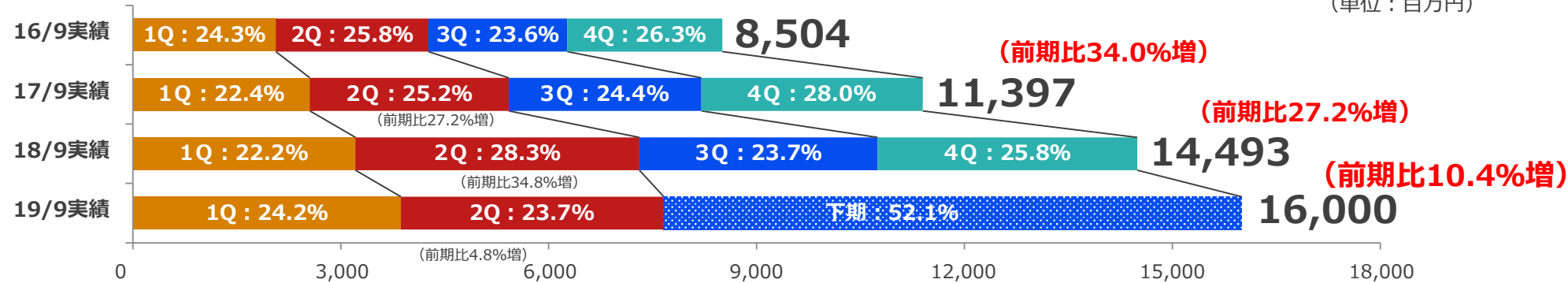
2) 通信技術 をベースにした

研究開発の成果を、
IoT/IOEソリューションとして実用化

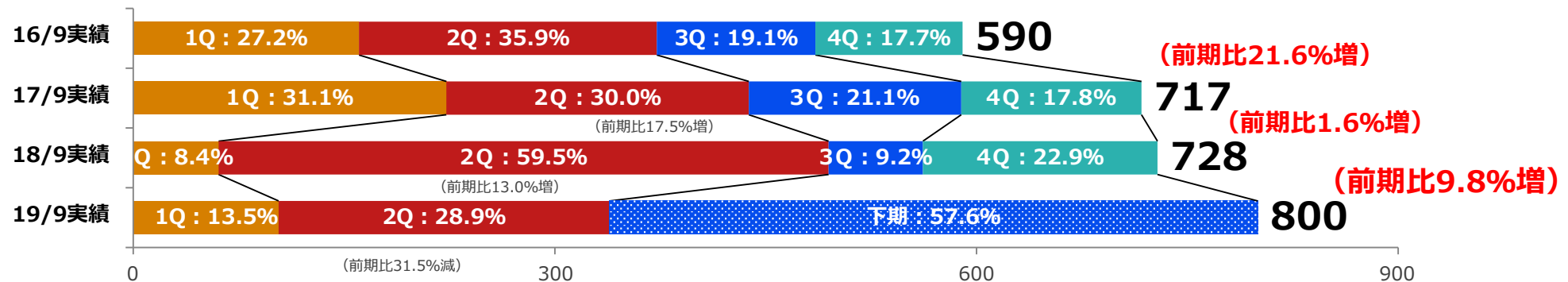
これまでの当社グループ業績推移

(単位：百万円)

売上高



営業利益



【事業トピックス】

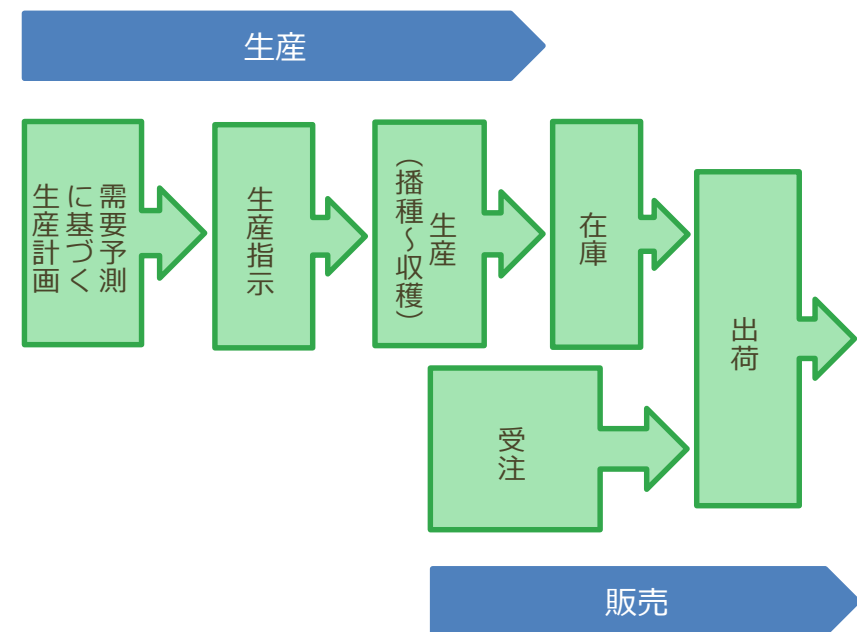
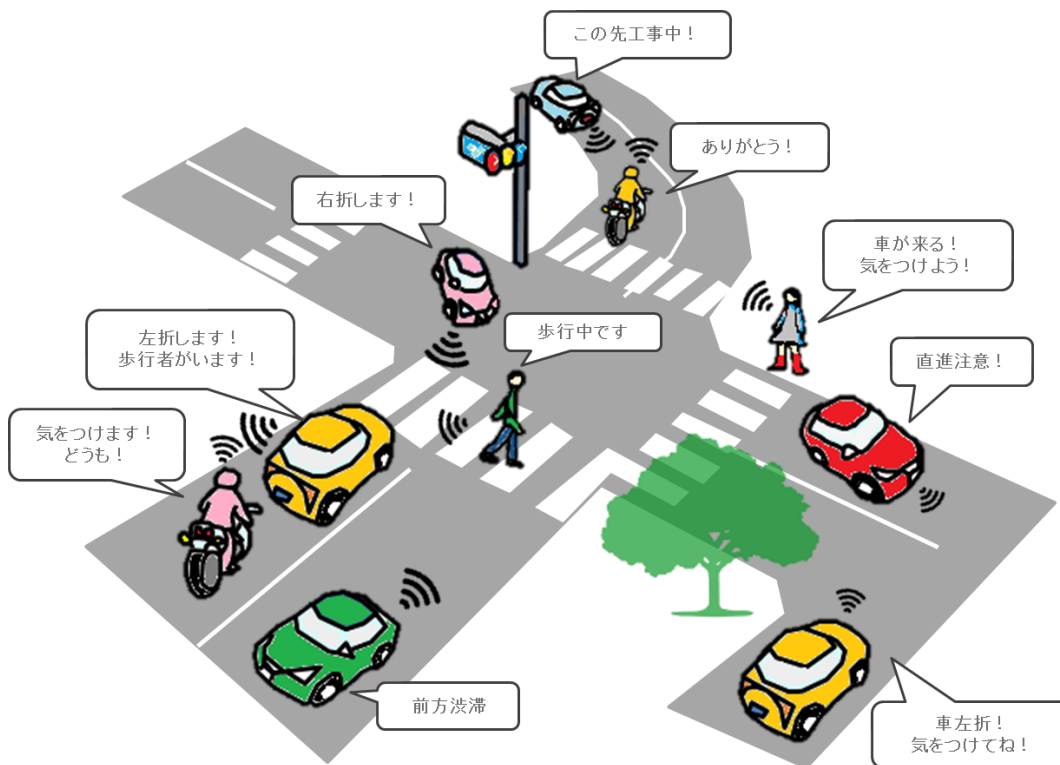
2015.9期	： IPO（マザーズ上場）	（2015.8）
2016.9期	： 東証1部へ市場変更	（2016.9）
2017.9期	： 株式会社シスウェーブ子会社化	（2016.11）
	： 株式会社シー・エル・シー子会社化	（2017.7）
2018.9期	： 株式会社リーふねっと子会社化	（2017.12）
	： Safer Connected World株式会社設立	（2018.6）
	： VSE株式会社子会社化	（2018.9）

V2X (Vehicle to X)、植物工場事業への参画

V2Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は**V2Xユニットのソフトウェア開発**と**V2Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社バイテックホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



IV. これからの当社グループ



これからは. . .



来るべきIoT/IoE社会における
サイバーセキュリティ領域へ進出

『最強そして究極』と呼ばれる
エンドポイントセキュリティ製品
『AppGuard®』の取り扱い開始

目的・・・

IoT/IoE 社会

=あらゆるモノがインターネットを
介してつながる社会

= Connected World

における**サイバーセキュリティ**を先行

効果・・・

自動走行・自動運転をはじめとした

「人と人」・「人とモノ」・

「モノとモノ」が相互に繋がる

「Connected World」の

セキュリティ強化まで、

当社グループがリード



平成30年度版 **準拠**
内閣サイバーセキュリティセンター
ガイドライン準拠製品！

革新は、違うカタチをしている。
APPGUARD
BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で準拠 **APPGUARD**とは

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準群」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能を有するソフトウェアの導入」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

NISCガイドライン	APPGUARD
シグネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	（準拠）シグネチャ（定義）ファイルに依存しません
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	（準拠）特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	（準拠）エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン・アップデートは不要です

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、
ランサムウェア対策
に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuard、AppGuardのロゴは米国法人AppGuard, Inc.、または株式会社Blue Planet-works及びその関連会社の、米国、日本またはその他の国における登録商標、または、商標です。その他のすべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。製品の仕様と価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本文書の記載内容は、2018年8月現在のものです。

2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC=National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。
（内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋）

「AppGuard®」テクノロジーについて



<特 徴>

- ① **未知のマルウェアをブロック**、② **完全防御**、③ **20年以上破られたことのない実績**

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

Advisors



Blue Planet-works
Safety for the Connected World



黒川清

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



Mark Kelton

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



出井伸之

- クオインタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



Stanton D. Anderson, Esq.

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



村井純

- 慶應義塾大学
大学院 政策・メディア研究科委員長
環境情報学部 教授



Robert Bigman

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer)
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋

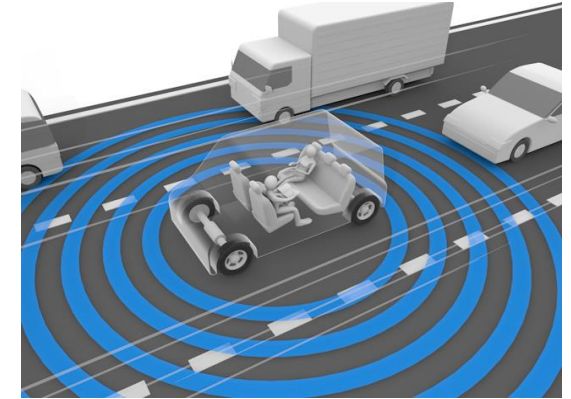
これにより. . .



「IoT/IoE 社会=あらゆるモノが
インターネットを介して
つながる社会=Connected World」

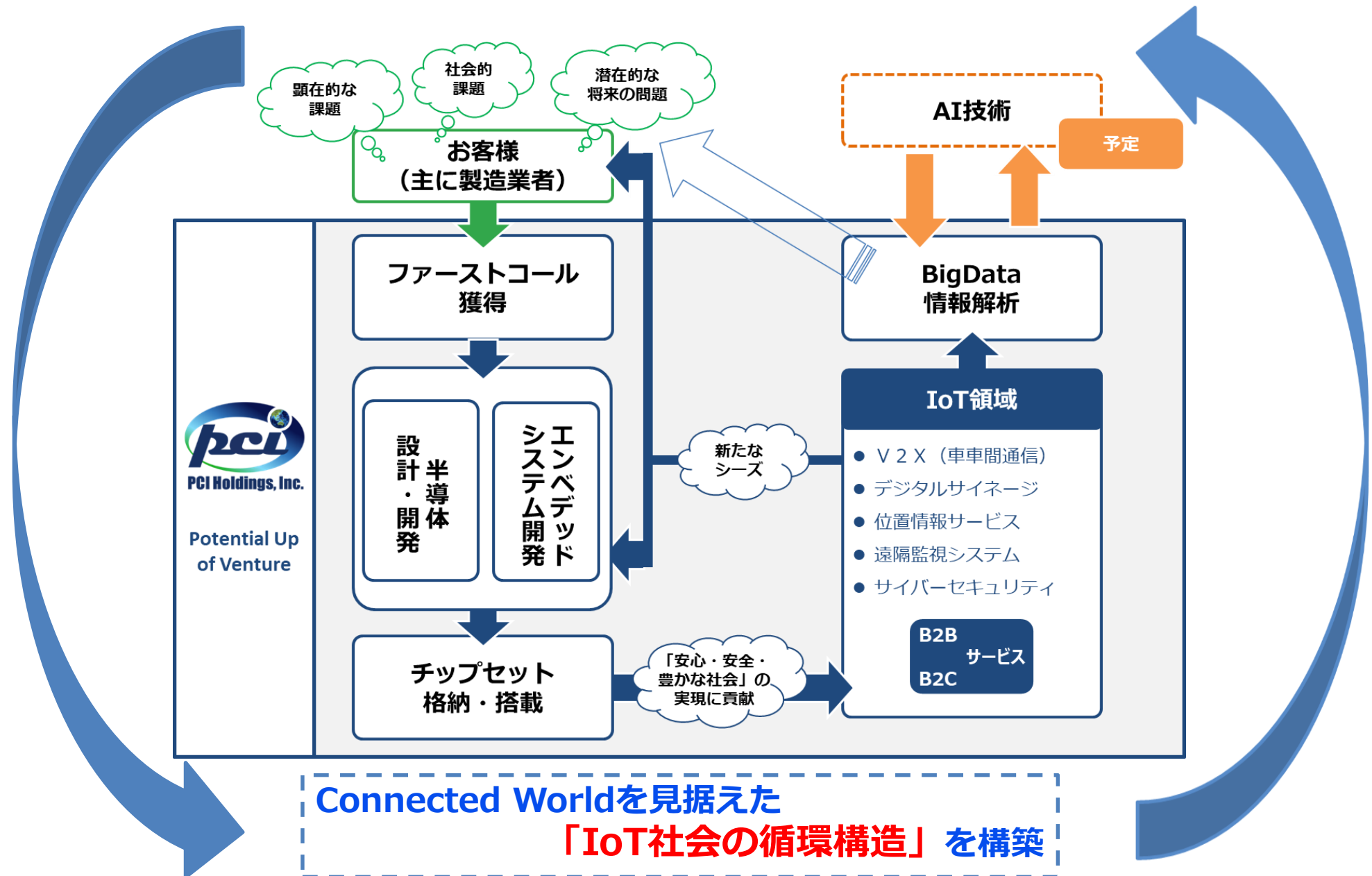
の到来を見据えた戦略を展開

具体的には. . .



自動走行・自動運転を始めとした
車同志あるいは「人與人」・「人とモノ」・
「モノとモノ」が相互に繋がる、
「Connected World」のセキュリティ
強化まで、**当社グループがリード**

PCIグループの『循環型IoT/IoEプラットフォーム』



V. 中期ターゲットと株主還元

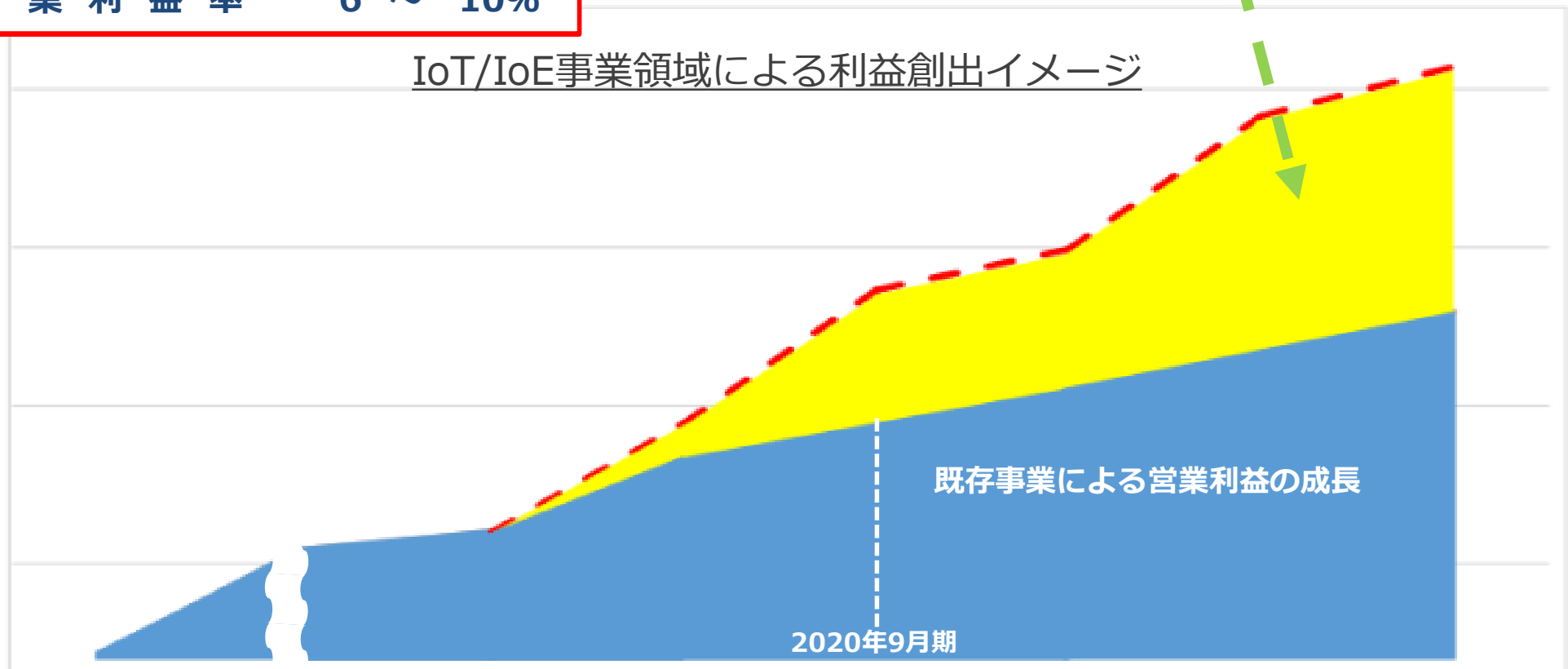
中期ターゲットについて

中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

株主還元について：株主還元方針と配当推移

株主還元方針

安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
[連結配当性向：30%～50%を目安とする]

配 当 推 移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)
配 当 性 向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	46.8%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施いたします（第2四半期30円、期末30円を予定）。

株主還元について：株主還元施策実績

開示日	内 容
2015年9月15日	増配（マザーズ上場記念配：10円）
2016年2月16日	株式分割（1：2）
2016年8月23日	増配（1部市場変更記念配：10円）
2018年2月22日	自己株式の取得
2018年11月13日	増配（5円）
2018年11月13日	中間配当の実施（来期増配予定：5円）
2019年1月10日	自己株式の取得

**3月が
中間配当の
権利月**

最後に・・・

目にしたら思い出して下さい

◆ 安心・安全・豊かな社会

★ エンベデッドと通信技術

★ IoTとセキュリティ

◎ 証券コード 3918

「サンキューいっぱい！」

PCIホールディングス株式会社

ご清聴ありがとうございました

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 事業企画室
E-mail ir@pci-h.co.jp